

## 教育課程特例校制度に関わる自己評価結果

5年間にわたるスーパーグローバルハイスクール（SGH）事業及び3年間の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」という、二つの文部科学省研究指定事業で蓄積した学びのスキルや地域との連携を生かして、グローバルな視点を持って地域課題の解決の貢献できるグローバル人材の育成を目指し、教育課程特例校制度を利用して、令和4年度から、松山東高グローバル事業をスタートさせた。

令和5年度入学の1年生では、学校設定科目「明教探究基礎」において、多様な地域人材を活用した講演や企業フィールドワークなどを通して地域を理解し、課題発見の視点を養った。後半は地域の課題解決や魅力発見につながる課題研究テーマをそれぞれが設定し、研究成果をポスターセッションの形で発表した。

2年生ではGLコース生対象の「GL明教探究」において、専門家からの指導や助言を受けながら、更に高度な課題研究に取り組み、研究成果発表会でシンポジウム等の形で発表を行った。

### ○「明教探究基礎」で実施した講演ワークショップ等タイトル例

- ・「これからのよのなかの話をしよう」（NPO法人 WONDER EDUCATION 越智大貴氏）
- ・「いい、加減。まつやま」（松山市シティプロモーション推進課 まちづくり推進課）
- ・「レペゼン故郷！ローカルからの挑戦」（一般社団法人いよのミライカイギ 富田敏氏  
伊予市双海町地域おこし協力隊 上田沙耶氏）
- ・「生まれるということはすごいことかもしれない」（福岡赤十字病院 長友太郎氏）
- ・「TV Program In Education」

### ○「GL明教探究」課題研究テーマ例

- ・「Beyond SDGS 2030～地域の多様性と世界の多国間協力の現状、課題、可能性を掘り下げる～」
- ・「災害の世紀に備える防災・減災のシステム論的アプローチ」
- ・「光を分けて、世界を見よう！」
- ・「医薬品情報を用いて医薬品の適正使用について考える」
- ・「多文化社会の日本語を考える」
- ・「スウェーデンと日本の比較分析」

これらの活動を通して、防災や教育、社会システムを、地域活性及び多文化共生の視点から捉え直し、自分たちにできることを改めて見直すなど、多角的な視点で様々な事象を考察する姿勢を身に付けることができた。これらの「松山東高グローバル事業」の取組については、学校評議員会及び学校関係者評価委員会において事業報告を行った。委員の方々からは、NHKのドキュメンタリー番組を見て考える特別授業「TV Program In Education」など、外部との連携を活用し、毎年新しい取組に挑戦している姿勢を高く評価していただいております、主体的に学ぶ生徒を育成する取組である等の意見が寄せられました。